



色
付
銀

花
開
夕

月
見

Aesop

Joseph

R18

色付夕

花開夕

君二ヨリ









サバイバーの身で
ハンターである私を
好き勝手できる
気分はどうだ

イツップ・カール



.....?
?



.....



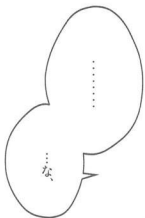
!

...やはり今夜は
やめて、おきましょう

ハア...

イツップ





バン.....



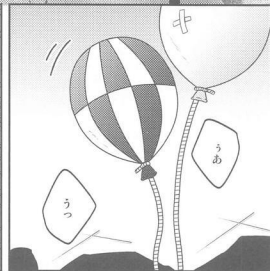
では...
おやすみなさい
良い夢を...



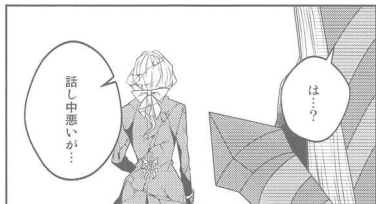
ゴ
ゴ
ゴ
ゴ
ゴ



なんなんだ...?









ぐわあッ



捨て身の
救助とは……
感心しないな

まあ我々
好都合以外のなら
何者でもないが……!



写真家殿

ルカ……!

アンドルーに
あまり難しい話を
してやってくれるなよ



投降しないのか？
まったく……
手間取らせてくれるな



ルカア!!

ルカア!!

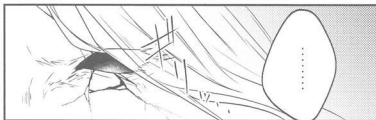


……だったら
どうだというんだ



貴殿に何か
心当たりでも？

……ひとつ
アンドルーと
話していたことが……





通じ合ったのは
あいつからだった

好きです



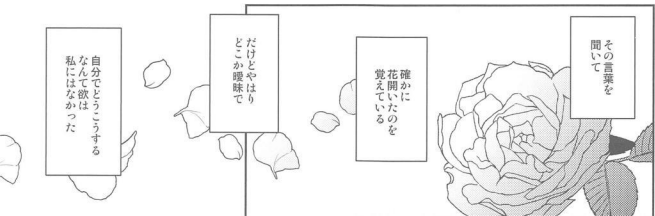
…当然だ



この姿になって
そんな感情とづくに
死んだものだと思
っていたのに



貴方のことが

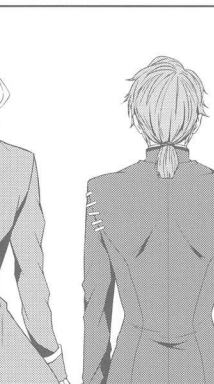


その言葉を
聞いて

確かに
花開いたのを
覚えていた

だけどやはり
どこか曖昧で

自分でどうこうする
なんて欲は
私にはなかった





現状を変える
選択肢など
見つからなかった



ハンターの中には
今以上の未来が
見えなくて



所詮私たちは
ハンターと……
サバイバー……

それでは
ダメなのか……？



ジョゼフさん





昨晚は……
すみませんでした

謝り、たくて……



謝る？
なにを？



なんだ？

あの……



……
そう……ですか……



えん？

別に……
なにを謝る
必要がある？

気などに
していい



お前も
飲むか？

あ……い、いえ
大丈夫です……



……？

いいから
入れ

……失礼します

バハッ……



もちろん行くさ
撮影も頼まれて
いるんでね

はい…



ああ
パーティーだろう？



あ、あの
今夜なんです
けど…



お前も
来るんだろう？

え…？



そうですね…

まったく…
宴が好きな
やつらだ



まあ…
行かなければと…
思ってはいますが…

ふふ…



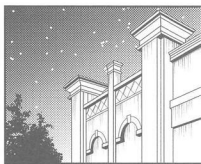
間違いない
騒がしいだけの場所
でお前には苦痛かも
しれないがな

う…っ
し…



すっぱかすなよ

はい…











同じ目標に挑む者同士



サバイバ



誰が見ても
あれは...



対等な視線



近い距離感

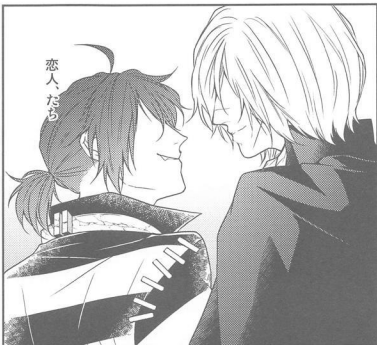


ハッ

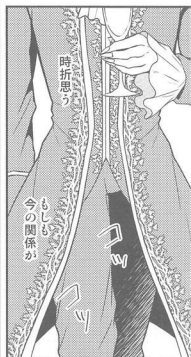


何を感傷的な...

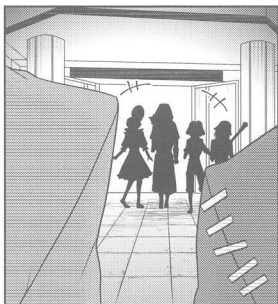
くる、

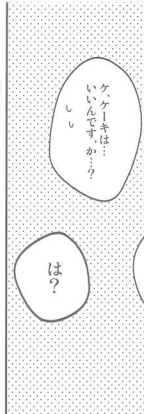


恋人、たち

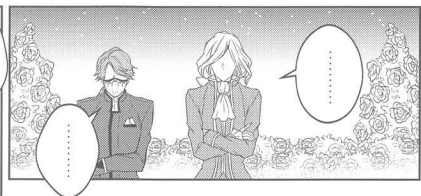
















ポーン
ポーン



……

ギシ

し、失礼します……

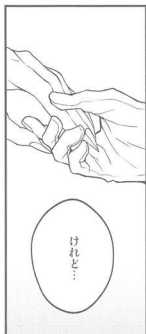
あ……
えと……



これだけは
知って置いてほしくて……



あ、あの……！





嫉妬した



すまなかった



ジョゼフさ

こんな感情
睡くて
愚かで...



どうして
私じゃないのか、と...



お前があの娘と
並んでいるのを見て



...けれど

.....



ようやく
わかったよ



汚くて...
自分が嫌になった

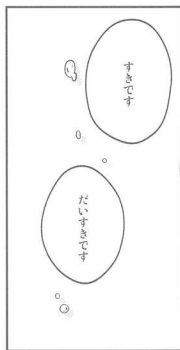


好きだよ
私の愛しい子



それほどまでに
お前がいいと…

お前の
言いたかったことが
ようやくわかった



すきです

だいすきです



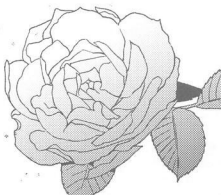
…ありがとう
くびります

ジョゼフさん

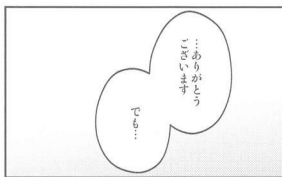


この手を
とってくれるか…?

愛しています







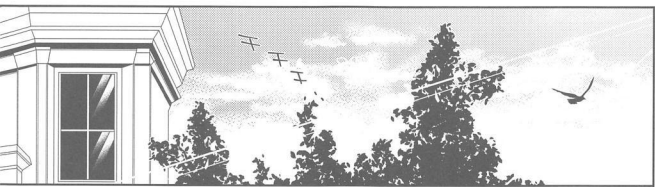














あ…
お、おはよう…
ございます…



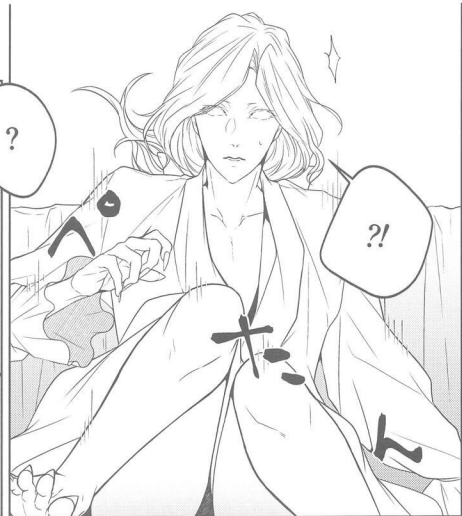
あ、あの…
お身体は
大丈夫ですか…？



困らせてもらっては
困るな
こんなことなんともな…

そ、そうですね…
でも…

誰に向かって
言っているんだ
私はハンターだぞ？





なんだ急に…
またその話か？

いいえ
ただ…

ジョゼフさん
昨日はパーティーで
ウツスさん達と
楽しそうでしたね



…っ？!

でも
言いたくなかった…



実は
あの時僕も
嫉妬しました



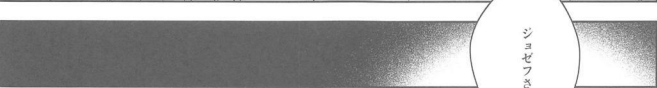
嬉しかったです



あの時
貴方が嫉妬して
くれていることに



気付いて
しまったから…



愛しています

貴方がいると
僕の世界も色付く

それはもう
溢れるほどに

一条リョウ/SURREAL

srri_info@yahoo.co.jp
Pixiv 54779442
Twitter @srri_lrss

発行日 2021/11/7
印刷所 金沢印刷 様

／18歳未満(高校生含む)の閲覧・購入禁止。
／無断転載、複製、和訳転載、ネットオークション、フリマアプリへの出品等禁止。

制作会社様、他公式様との関連は一切ありません。
本作品は二次創作物です。取り扱いには十分なご配慮をお願い致します。
不要の際は同人誌専門店、または一般の方の目に触れぬよう廃棄してください。

お礼がとう
ございました。
カルダゼ
大好きです!!

一条



Identity V unofficial fanbook
presented by

SURREAL

